

ふわふわお姉ちゃんに抱き枕にされて
逃げられないおやすみ音

2022/04

同人音声サークル『ウラオモテ』

この音本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所がございます。
ト書きはほぼそのままですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

【安眠寄りの音声です。耳舐めの際は、『わわ』のよつな鋭いキス音は極力避けて、吐息や舐め音がメインになるように意識してください】

主人公、ベッドで寝ている。

姉、足元から団ぐる寝こべベッドに乗つておいで、主人公の上に覆いかぶさる。

◆足元から正面/20cmへ、覆いかぶせしていく
動きイメージ》〈小声〉

ふわ姉1 「はあ、はあ……ん――……んふふふ~」

【「」かわい、様子を見る風に左右に揺れる】

ふわ姉2 「起きてる~」

ふわ姉3 「寝てる?」

ふわ姉4 「寝ちゃつた?」

うそ。

ふわ姉5 「あ、うなずいた」

「なんだ寝ちゃつたんだー」

ヽヽシシ「〃°

ふわ姉6 「や、起きてるじやん。うなずくなし」

【左右揺れ「」】まど】

ふわ姉 8

「うえー～、部屋間違つてないよ」

姉。布団にもぐりいむ。

《◆正面/20cm から右耳/10cm ク、布団もぐもぐ》

ふわ姉 9

「んく、しつれーご、こ、しゃ……ふふふ」

(そのままもぐもぞした動き)

ふわ姉 10

「邪魔じやない～。今日は一緒に寝たい気分なの～」

(前回のふわ姉9のオマージュセリフ)

ふわ姉 11

「あ、もしかして、人と一緒だと眠れないタイプ?？」

ふわ姉 12

「ふーん……私も♪」

ふわ姉 13

「あはは♪ や一だあ♪ 離れたくなじ♪」

《◆右耳/10cm 抱きつくる》

ふわ姉 14

「せたんほ代わりにしだごもん……はあ♪」

媚び。〈囁き〉

ふわ姉 15

「すー、はあ……だめ?」

《◆右耳/10cm 暫しやうじいつむく》〈小声〉

ふわ姉 16

「本当にだめなり……まあ……部屋戻つて……一人で寝ねナシ……」

枕を置ける主人公。

ふわ姉 17

「あ、ふふふ、枕貸してくれたあ♪」

《◆右耳/10cm 抱きつくる》

ふわ姉 18

「ありがとね♪」

布団の中でもぞもぞ。

13

(囁き) 弟成分さいつこー

ふわ姉20

ふわ姉
21

ふわ姉22

ふ
わ
姉
し

162 #24

六
二
市
三

卷之三

卷之三

「また何も言つてないのに否認されたあ」

《◆右耳》—Ucm

「食い気味に『違う』と言われる。」

(とほける)

「蒙古史」

「手もつなご」？

「ニヤニヤ思ふ」の意味

ふわ姉 29

「でもでも、お姉ちゃん成分、摂りたいでしょ。」

ふわ姉 30

「お姉ちゃん成分には、眠くなる効果があるからね」

ふわ姉 31

「モーザー、花粉症の薬みたいなもんだよ」

ふわ姉 32

「私も最近辛くて……ってモーいう話じやなくひ」

ふわ姉 33

「モー。またモー。モー」モカシモー。」

◆右耳/0cm 抱きつゝ動毛

ふわ姉 34

「モー。お姉ちゃんが逃げると思つてゐるの。」

囁き

ふわ姉 35

「無理やうに、お姉ちゃん成分、流し」モジヤイモア

す。

耳はねはね。温かい。

ふわ姉 36

「さあ——む、はむ、せむ、ああむ、はあむ、

はむ、せむ。」

小指

ふわ姉 37

「モー。一人田のベッドでも、はむ、ハ夫すれば、

一人で寝れるよ。」

ふわ姉 38

「はあむ、」——やい、はあ、モモ——ひ、くつ

くつ。はあ。」

ふわ姉 39

「あ、おでて逃げた。くす。変なと」触のちやつ

た。ビ」触のちやつ。」

ふわ姉 40

「はあむ、はむ、せむ。」

ふわ姫 41

「えー、体が」わざわざおしゃべ

ふわ姫 42

「疲れがたまつてる感じ」

ふわ姫 43

「ハニス」

ふわ姫 44

「今日このまま頑張った~。」

ふわ姫 45

「ハニス、エムニスモ」

ふわ姫 46

「頑張れてハニス」

ふわ姫 47

「かの」ニニ

ふわ姫 48

「色黒」

ふわ姫 49

「ヒクヤレンヒム」

ふわ姫 50

「マーベ」「アス」

(素な感じ)

ふわ姫 51

「おはせ♪ 途中から謡の英語」

ふわ姫 52

「んー寝めてるんだよ。 明日頑張れてや！」ニ

ふわ姫 53

「私二回に一回しか頑張れないから」

ふわ姫 54

「ハニス」

ふわ姫 55

「でも……そろそろ寝なさい、明日にひびくよね」

《◆左耳/10cm #主人公をまたいで移動》

ふわ姫 56

「ん、はあ……ふわ」

ふわ姉 57 「えーー.. ふふふ」

ふわ姉 58 「ネットで見たやつ、してあげよつかなーって」

ふわ姉 59 「なんかね、全身にぐう一いつ力入れて、すーーって
力抜くの繰り返すと……すぐ寝れるんだって」

ふわ姉 60 「このまにか」

ふわ姉 61 「朝になつちやつ」

ふわ姉 62 「ハス」

ふわ姉 63 「お姉ちやん情報」

ふわ姉 64 「嘘じやなごよこせこ調べたもん」

ふわ姉 65 「せんとだよ..」

ふわ姉 66 「ハス・ふふ」

ふわ姉 67 「普通は、脱力を繰り返すだけでいいんだけど」

ふわ姉 68 「ううひ、お姉ちやんはひと声聞加えますい♪」

◆左耳/0cm 右耳くぬぐへ

ふわ姉 69 「何かつて聞くわよ.....」

ゆつたり、黙じ耳舐め。

ふわ姉 70 「はあ.....れる、れゑる.....れる、れゑる」

ふわ姉 71 「やあ、脱力するとき」、お姉ちやん成分も、一緒に
流し込んでやつの♪

ふわ姉 72 「全身が、とむかわお、ふわふわあつて.....#かーひと
眠たくなつちやつ

「ふふ、じゃあ、試してみよっか」

「ふふ、じゃあ、話してみよっか」

「おおせ、西行」

「めざせ、恒星」

「手のひらは上。うん。親指を、握りこむ感じで」

ふわ姉
「そのまま十秒間、ぎゅーって、握りこんで？」

(『ギュ一』は4秒くらい。続いてピッタリ10秒

ふわ姫 18 「五、六、七、八、九、十」

「はい、力抜いて？」手のひら、だらーっと

ふわ姉80 「そしたら」のまま、脱力アンド、お姉ちゃんターキ

「はあ、れえる、れえる、れえる、れえる、れえる」

「脱力する時は、ゆーひくり息を吐いてね?」

あたたかい深呼吸が耳に当たる。

ふわ姉
——す——、
はああ
……」

ふわ姉84
一れる
れれる
れれる

ふわ姉^{おね}
一體をリテラ^{リテラ}ゲスさせで
れるれる
氣持^{きもち}かしいし

ふわ姉86
「れえる、れろ、れろ、れえる……はあ♪」

ふわ姉87 「流れせ」みな感じ♪

おさらい。

ふわ姉
88

「十秒力を入れたら、脱力してお姉ちゃんタイム♪」

(前回のふわ姉27のオマージュセリフ)

◆左右にちょこまか動きながら

「(左) どう?. (右) どう?. (左) どうすか
ね? (右) 気持ちよく眠れそうっしょ?」

ふわ姉91 「じゃ、今度は本番ね？」

ふね姫 92

「手のひらを上にして、親指を握り」と云ふ

ふわ姉弟

一緒に息を吐く。

「はあ～、ゆつくり息吐いてー？」

「はあむ……れる、れる……手のひらから、じわあつ

て れる れる 力が抜け ていくの イメージして
れ え る れ る …… はあ、れ え る、れ る、れ る」

ふわ姉
（囁き） 気持ちいいね♪
はあ、れる、れる、れ

る、れえる……はあ」

ふね振 113

「せあーむへ れるるれるるへ 奥のせいや、ぐせぐせ
せいや」

すいだら奥戻る。

ふね振 114

「さあ、れるる、れるる、ぐぶ、ぐぶ、れるる、れる、
れる、ぐっせ、ぐっせ、ぐっせ……ふるへ、ふるへ」

ふね振 115

「次は、お顔の聴力」

ふね振 116

「うん。皿と口を、机と一緒にねりみて~」

ふね振 117

「すいせーじゅうを、丸かじっしゃつた感じへ、
ん——のトム」

ふね振 118

「そーそーへ、じやあ、すいせーじゅう聴のまわ、
聴じのせり力入れて~。」

ふね振 119

「ヨーの、ふーーーへ」

ふね振 120

「す、木、十、ハ、九、十、

ふね振 121

「ふあー、すいせかひたあへ あはせへ」

ふね振 122

「せむへ 力抜いてー、あむ、お顔じのせりこしもへ
ねーへ はあ、れるる、れるへ せむ、せむへ

はあーむへ ふるへ」

ふね振 123

「すいせーじゅうのイメージつかやういたからかな。れるる、
れるへ 瞑想丑いわねやうだへ」

ねいじう愁の強こ耳語る。

ふね振 124

「れーる、れーる、あかゆ、あかゆ、れる、れるへ
(疊か) ね耳ぐとぐとこなつたふー」おんねー、れーる、
れる、れる、れる、れるへ せあへ れーる、れる、
れるへ せあへ」

ふね振 125

「えへ ここ 感じへ」

ふね振 126

「今度は、油井だ」

ふね振 127

「お母さん、私のせいで、首をひねつてしまつて。」

「主人公、娘のせいでを回へ。

《◆凹面/10cm 調色ながい》

ふね振 128

「ねハルハ」

ふね振 129

「左のせいで、枕にぐいとねやいへむ」

ふね振 130

「おねつたおも、首に力を入れぬよ。」

ふね振 131

「かーの、物を――……」

ふね振 132

「ね、大、十、バ、ス、十、

ふね振 133

「えへ へる樂にして。」

《◆凹面/10cm 調色ながい》

ふね振 134

「あへどうもしだれへ」

「」歎美のねいふりキス。

ふね振 135

「せむへ ねむへ せお、れぬ、れぬ、ねむへへ」

ふね振 136

「ん――。ビシタの――。ちゅ、れる、れぬへ」

ふね振 137

「お姫ちゃん成分は、お口からも流し戻すんだよ。」

「れぬ、れぬ、れぬ、ねむへへ、ぱおへ」

ふね振 138

「へす、力入のねむへへへ、だぬだよ。脱力し

なじむへ」

ふね振 139

「え――、ねむへ お姫ちゃんの「」へ、ねむ、吸土入

れぬやねへ。れぬ、れる、れぬ、れぬ、れぬへ、ねむへ。はあ、れぬ、れる、れる、れぬ、れぬ、んねむへ」

◆左耳／0cm 戻る》

ふわ姉 140

「せぬふか」

ふわ姉 141

「お口、幸せになっちゃったね」

姉、今度は右側へ。

◆右耳／10cm 主人公をまたいで移動

ふわ姉 142

「ふうん……まあ

ふわ姉 143

「まだ終わっていないぞー？」

ふわ姉
一四

一左にひねった後は、今度は右♪ 二右に首ひねる

1
1

主人公、姉のほうを向く。

◆正圓/10cm

ふわ姉 145

四庫全書

ふわ姉 146

「くす、ねーね、またキスやれやせうついで悪いでしゅ、ふふ、じーかなー」

ふわ姉 147

卷之二

ふわ姉 149

「はい脱力ー♪」

◆正面/0cm ふと近づく

ふわ姉 151

「んちゅ……れる、ちゅう……はあ、れえる、れる、

る、顎も、舌も……れる、れる、れる、れる」

ふわ姫 153 「ね口せかーんひへ、はあむへ、氣持がこキス
しょねー、れえる、れる、んちゅう、れる、れるへ
んちゅうへ」

ふわ姫 154 「せあへ、排せへ。」

ふわ姫 155 「じやあ、あと一十秒サー、ビスね」

ふわ姫 156 「あむへ、れるれる、れる、ちゅうへ、はあ、れる、
れるれるれるれる……んちゅうへ、ふふへ、はあ
むへ、れる、れる、れる、れるへ、あむ、あむへ
んーー、ちゅへ、んーー？ 今何秒？ ちゅ、私かれる
てないよ？ くすくすへ、れる、れる、れる、れえ
るへ、んちゅうへ、れる、れる、れるへ、あゆうへ」
「ぱあへ、えく、！」あえへ、轟母になつたやつたへ」

ふわ姫 158 「また上回ごトヘ。」

◆右耳/10cm [医る]

ふわ姫 159 「ふわ」

ふわ姫 160 「次はね」

(素な感じ)

ふわ姫 161 「どーだつた」

ふわ姫 162 「おはせへ、キスしそぎて忘れちやつた」

ふわ姫 163 「えー」おどやつたつた

ふわ姫 164 「あーねつた。じや次は、お腹かな」

姉、お腹を押さえる。

ふわ姉 165 「そー。お腹」

「そー。お腹

《◆右耳/0cm》

ふわ姉 166

[1]

ふわ姉 167

「ほんほんぺいん」

ふわ姉
一
68

力を入れてみて?」

ふわ姉 171

「ん♪ おつかれー♪ はあむ♪」

温かい吐息まじりの耳舐め。

ふわ姉 | /
れる、れる、ん、だんだんかゝれてきたね♪
あと少しひ、れる、れる、はあ、れる、んは
む、れる、れる、る、♪お♪

いよいよ安眠を意識

〈小声と囁きの間くらい〉

ふわ姉 173

「アキレス腱を伸ばすように

て曲げるの「

ふわ姉 175 「一緒にやる~」

ふわ姉 176 「セーの、グー一足伸ばしてー」

(一緒にやっているので、少し力みながり)

ふわ姉 177 「五、六、七、八、九、十

ゆいへり息を吐く。

ふわ姉 178 「はあ～～休憩～～」

ふわ姉 179 「はあーむ……れる、れる、れる……足の力が抜ける感覚、気持ちいいよねえ……れる、れる、れる、れる……じわじわする。ふふ。れる、れる、れる、れる、れる、れる、れる……はあ、れる、れる、れる」

ふわ姉 180 「ん♪ 一通りできたね♪」

ふわ姉 181 「じゃあ、次で最後っ」

ふわ姉 182 「最後は、今までやった」と、全部一緒にやるの」

ふわ姉 183 「手も、腕も、肩も、顔も……ああ首はそのままでいいかな、えく」

ふわ姉 184 「あと、お腹と足だね」

ふわ姉 185 「全身一気に力を入れて、ぱあ～って、気持ちいい脱力しよ?」

ふわ姉 186 「これも私一緒にやる♪」

力みながりワスルカウント。

ふわ姉187 「ごくよ~ セーのい……れやか~~~~~」

ふわ姉188 「ヰ、木、十、ハ、ヰ、十、+

疲れたあ。(ボップノイズが強くなりやうなので、
「」は吐息を削りやすくマイクから外す)

ふわ姉189 「せあ~~~~~♪」

意味深。

ふわ姉190 「せあ、はあ……全部出し切った? もう丑ない~。」

ふわ姉191 「ハニ~ はあ~ ょく頑張りましたあ~」

息を整える。

ふわ姉192 「ふ~」

一 嘴 | 嘴、 ゆ~くら~。

〈囁き〉

ふわ姉193 「全身、もう力入らないね~」

「無防備になつちやつた~」

(吐息)

ふわ姉195 「す一、はああ」

「お耳も、こつもより、敏感さん~」

ふわ姉196 「眠持ちごいの逃がせないから、全部受け止めるしか

ないんだよ~。」

ふわ姉198 「はあ……れる、れる……れる、れる」

「とんとんになつた体をお、お姉ちゃんが抱き枕にし
ちや~ハ~」

ふわ姉200 「はあ、れる、れる……れる、れる、れる」

《◆左耳/0cm タイマーを離して反対側》

ふね姫 201 「ん、はあ」

ふね姫 202 「わな――――♪」

ふね姫 203 「金剛のかほか……ふわふわ……やわらかあい
ね姫ちやんに、わな――してねだまめ……」

ふね姫 204 「ねやすみなせこ♪」

ゆーひつ櫻しご耳語め。

ふね姫 205 「……れえ~る……れる、れる……れ~る……れる、
れる……れえる、れる……れ~る、れ~る……れる、
れる、れ~る……れ~る、れる……れ~る、れ~る」

ふね姫 206 「さあむ、さむ……あむ、あむ……あむ、さあむ、
れ~る、れ~る……はむ、さむ、はあむ、れ~る……
れる、れ~る……あむ、あむ……れ~る、れ~る」

(フヒーットカム)

(01-END 3873枚目)